

平成27年7月現在、「可燃ごみ」という名称に変更されています。

今日からはじめよう！

# ごみのダイエツト通信

⑦

すことができます。  
森林資源を守るため、燃せる  
ごみを減らすためにも、引き続  
き「古紙」の資源回収にご協力  
ください。

今回は、少し方向を変えて「古紙の再利用」がテーマです。皆さんは、紙の生産にはどれくらいの木が使われていると思いますか？

100kgの紙って木何本分？  
紙100kg（約1万枚）を生産するのに、筒状の立木（直径14cm×長さ8m）が2本必要だと言われています。それを皆さんが出しているごみに置き換えるとうどうなるでしょうか？

皆さんが森林を守っています！

町では、新聞紙、雑誌・チラシ、ダンボール、牛乳パックを「古紙」として回収しています。

古紙の年間回収量は約1千200トン。1世帯当たりでは約95kg。ちょうど立木2本分です。皆さんは、知らず知らずのうち立木2本分の森林資源を守っているのです！

まだ紙類を燃せるごみに出してはいませんか？名刺サイズ以上のものならば、古紙として出

